

令和7年東成瀬村議会定例会（第3回6月定例会議）行政報告

第3回6月定例会議に当たり、第2回3月定例会議以降の村政の御報告と今後の運営方針について申し上げます。

はじめに、私の行政視察調査について御報告申し上げます。

去る4月16日、北海道北広島市を訪問し、「北海道ボールパーク F ビレッジ構想」と、それに伴うまちづくりの取り組みについて、川村副市長及び柴経済部長より御講話を賜り、併せて現地の視察もさせていただきました。

規制をはじめとする数々の課題を乗り越え、緻密に構築された構想、さらには周辺自治体との広域的な連携・発展を視野に入れた事業展開には、非常に多くの学びを得ることができました。

なお、今回の視察は、なるテックの近藤社長の御紹介によって実現したものです。また、北海道東川町からも視察を受け入れ、意見交換を行いたいとの意向が示されており、今後の調査先として検討を進めております。

続いて、所管ごとに御報告申し上げます。

（総務課所管）

1 春の叙勲について

令和7年春の叙勲において、前村議会議員の佐々木謙吉氏が、旭日双光章の栄に浴され、5月8日に県正庁で叙勲が伝達されました。

永年にわたり地方自治の発展に御尽力いただいたことに深甚なる敬意を表し、心よりお祝いを申し上げます。

2 総務大臣表彰について

第50回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰において、選挙管理委員である藤原キク子氏が総務大臣表彰を受賞され、去る3月19日、県庁においてその伝達が行われました。

藤原氏におかれましては、永年にわたり選挙の適正かつ円滑な執行・管理に御尽力されてこられました。その御功績に対し、深甚なる敬意を表するとともに、心よりお祝いを申し上げます。

3 国家公務員総合職新任行政研修の受け入れについて

6月2日から6日までの5日間にわたり、金融庁、財務省、厚生労働省及び農林水産省から派遣された新任国家総合職員4名の研修を受入れました。

本研修は、府省庁において主に企画立案を担う総合職が地方自治体における

実地体験を通じて、地方が担う多岐にわたる業務の実態を理解するとともに、国と地方の役割や関係性について考えることを目的として実施されたものです。

研修期間中は、成瀬ダム工事現場の見学、地域おこし協力隊の活動体験に加え、本村職員との行政施策に関する意見交換なども行われました。

本村での研修が心に残る実り多い経験となり、今後の御活躍の一助となることを心よりお祈り申し上げます。

4 自衛隊募集相談員委嘱状交付について

5月27日、自衛官募集相談員委嘱状交付式が行われ、谷藤和昭氏と佐々木伸悟氏に委嘱状が交付されました。

現在、人口減少社会の中で自衛官となる人材の確保は一層困難な状況にあり、募集相談員の皆様には広報活動をはじめとする各種御協力をお願いしているところです。

今後の2年間にわたり、入隊希望者等に対する情報提供をはじめ、地域における自衛官募集に関する活動を行っていただくこととなります。両氏の御尽力に心より期待申し上げます。

5 消防防災関連について

4月25日にホテルブランにおいて消防団幹部会が開催され、今年度の活動計画を確認しております。また、組織運営に対する意見も拝聴しており、活動に支障がないよう配慮してまいりたいと考えております。なお、今年の村消防訓練大会は、7月13日に開催することが決定しております。

また、5月23日には防災情報センターにおいて栗駒山系遭難対策協議会総会を開催し、今シーズンにおける遭難防止対策などの協議を行いました。

6 雄物川総合水防演習について

5月25日、大仙市の大曲の花火公園を会場に、雄物川総合水防演習が開催されました。本演習は、東北地方整備局管内において毎年持ち回りで開催されているもので、雄物川上流地区での開催は21年ぶりとなりました。

本村からは59名の消防団員が参加し、洪水対応訓練の一環として、積土のう工とシート張り工の2つの工法を実演いたしました。

この演習への参加により消防団を始め関係者の防災意識が一層高まったものと実感しております。

(企画課所管)

7 第6次東成瀬村総合計画について

第6次東成瀬村総合計画については、昨年度実施したワークショップにおける住民の皆様からの御意見を踏まえ、現在策定作業を進めているところであります。

9月には中間報告として、将来像や基本目標、計画の体系など、基本構想をお示しする予定としており、12月定例会議で議案として提出を予定しております。今後は、むらづくり推進委員会やパブリックコメントの実施など、計画的かつ着実に進めてまいります。

8 ふるさと納税について

昨年度のふるさと納税の実績は、4,772件、3,532万9,500円となり、令和5年度と比較して、件数で1,071件、金額で703万9,500円増加となりました。

今年度については、本村の返礼品の主力である米が不足しており、厳しい状況が見込まれますが、新たな生産者や返礼品の確保に取り組み、納税額の増額に務めてまいります。

9 企業版ふるさと納税について

昨年度から実施しております企業版ふるさと納税は、5社から総額800万円の寄附をいただいております。

現在、企業と村をマッチングする業務を行う事業者の公募を進めており、6月末まで随時募集を行っております。複数の事業者の協力を得ながら、より多くの企業から御支援をいただき、持続可能な村づくりのための財源としていきたいと考えております。

10 地域おこし協力隊関連について

地域おこし協力隊については、4月に新たに7名が着任し、6月1日現在で58名となっております。各分野において精力的に活動しており、地域課題の解決に取り組むとともに引き続き村のPRにも力を入れていただきたいと考えております。

また、3月31日付けで任期満了により退任した隊員については、その後も村内に在住し、起業するなど、それぞれが意欲的な活動を続けております。

本村では、退任隊員の定住率が依然として低い状況にあるため、今後は隊員とのヒアリング等を通じて、退任後の定住に向けた支援を更に進めてまいります。

1 1 集落支援員について

今年度から新たに募集を行っておりました集落支援員について、2名の方から応募があり、そのうち1名を6月から配置しております。

集落支援員の活動は、地域の維持及び活性化を目的とし、集落の巡回や状況把握、住民同士の話し合いの促進などを通じて必要とされる具体的な取組や、その担い手となる地域運営組織の支援を行うものであります。

今後、集落支援員が村内を巡回し、各地区の代表者の皆様から聞き取りなどにより集落点検を実施いたしますので、御理解と御協力をお願いいたします。

1 2 東成瀬村地域公共交通活性化協議会について

東成瀬村地域公共交通活性化協議会が事業主体となって、国土交通省の「交通空白」解消緊急対策事業に応募した結果、4月28日付けで事業採択を受けました。

この事業は、公共交通機関が少なく、地域交通に課題を抱える本村において、交通空白の解消に向けたサービスを実施するための体制や仕組みづくりを支援するものです。

5月30日には、本年度第1回地域公共交通活性化協議会が開催され、当該事業を活用して、村内の地域交通を取り巻く現状や課題の整理、それらを踏まえた地域交通のあるべき姿やその実現に向けた具体的な施策について協議を進めていくことが確認されました。また、地域公共交通計画の策定に向けた調査・検討を進めていくことが承認されております。

今年度中の計画策定を目指し、本協議会を主体として、持続可能な交通体系の構築に取り組んでまいります。

1 3 定住促進住宅建設事業について

今年度から新たに整備を進める定住促進住宅用地として、岩井川字東村地内を計画しています。予定している土地については、地権者から了解を得ており、現在は用地購入に向けた手続を進めているところです。

今年度は、用地取得、測量設計業務及び敷地造成等を計画しております。

住宅の建設手法につきましては、他自治体の事例なども参考にしながら、どのような事業手法が適切か検討している段階です。方針が決まり次第、改めて、お示しする予定としております。

1 4 秋田栗駒リゾート株式会社について

秋田栗駒リゾート株式会社の令和6年度単年収支は、2年連続の赤字となる見込みとなりました。

その要因として、ホテルブランでは、従業員不足により昨年に引き続き4月から11月の営業を縮小せざるを得なかったこと、加えて、12月以降も宿泊や日帰り利用者が思うように増加せず、売上げが伸び悩んだことが挙げられます。さらに、人件費、原材料費や燃料費の高騰により、固定経費が増加したことも影響しております。

栗駒山荘については、大規模改修工事の最終年度でありましたが、工事による客室利用の制限がなかったため、宿泊利用は前年を上回りました。しかし一方で、日帰り入浴やレストランの利用者が大きく減少し、繁忙期である10月だけを見ても約1,300人の減となりました。その結果、売上げは前年比11.4%にとどまり、ホテルブランの赤字を補えるほどの利益を上げるには至りませんでした。

スキー場については、ここ数年と比べて早期オープンとなったことや、前年に続き、県のプレミアムスキークーポン事業の効果もあり、前年並みの売上げを確保できましたが、会社全体では最終的に赤字決算となる見込みであります。

今年度においても、従業員不足や固定経費の高騰といった課題は継続しており、厳しい経営状況が続いております。しかしながら、栗駒山荘レストランのセルフサービス化や、日帰り利用者の増加に向けたサービス提供など、営業手法の見直しを図りながら、収益確保に努めてまいります。

また、昨年度より地域活性化起業人制度を活用し、秋田栗駒リゾート株式会社の経営改善施策の検討を進めております。令和6年度決算までの現状分析を踏まえ、検討すべき事項について提案を受けており、年内には村としての方向性をお示ししたいと考えております。

1.5 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について

5月27日に令和7年度一般会計予備費の使用が閣議決定され、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の推奨事業メニュー分として、1,000億円の増額措置が講じられました。

これを受け、本村におきましては、3,175千円の交付限度額が示されており、現在、物価高騰の影響を受けている事業者に対する支援事業の実施について検討を進めているところです。

なお、本定例会の最終日において、当該支援に係る関係予算を追加で提出いたしますので、慎重なるご審議を賜りますようお願い申し上げます。

(住民生活課所管)

16 生ゴミ処理機購入費助成事業について

本年度新設した生ごみ堆肥化推進事業に代わる生ゴミ処理機購入費助成事業については、5月末現在まで3件の申請があり、申請者の方々に助成金を交付しております。

申請件数はまだ少ない状況ではありますが、ゴミの減量化を図る取り組みの一つとして住民の皆様にご利用いただけるよう、今後も引き続き周知に務めてまいります。

(健康福祉課所管)

17 戦傷病没者追悼式について

5月7日、村防災情報センターにおいて村戦傷病没者追悼式を挙行了いたしました。

今年は、戦後80年の節目の年に当たります。開式に先立ち、御遺族の皆様とともに大橋場にある忠魂碑を訪れ、献花と168柱の御霊に拝礼を行い、恒久平和を誓い合いました。

18 個別避難計画作成事業について

高齢者や障がいのある方など、災害時に自力での避難が困難な方々を対象に、社会福祉協議会の協力を得て、個別避難計画の作成を進めております。

これまでの計画を全面的に見直すとともに、作成に当たっては、各地区の自主防災組織等と協議する場を設け、見守り活動の充実や地域防災力の向上を図ってまいります。

なお、5月下旬の下田地区での実施を皮切りに、担当職員が順次各地区を訪問いたしますので、皆様の御協力をお願いいたします。

(産業振興課所管)

19 今春の稲作状況について

村内の稲作状況について御報告いたします。育苗センターでの播種作業や育苗ハウスでの稲の生育は、おおむね順調に進んでおります。一方で、期間を通じて雨が多かったため、耕起や代かき、田植作業に若干の遅れが生じておりますが、現在、田植作業は終盤にさしかかっています。

今後は梅雨の時期に入るため、農業総合指導センターによる巡回事業などを実施し、天候不順などによる影響や生育管理に注視してまいります。また、情報収集に努め、適宜農家の皆様へ最新情報を提供していく予定としております。

20 日本型直接支払制度について

日本型直接支払制度は、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るために行う地域の共同活動や営農活動を支援する施策で、本村では15の組織において多面的機能支払を活用し、17の協定で中山間地域等直接支払を活用して活動を行っております。

中山間地域等直接支払については、全協定が令和6年度で第5期の活動が終了し、令和7年度から5年間、6期目の活動を実施する予定であり、再認定にかかる手続きを進めているところであります。

今後も各組織及び協定の事業計画が、適正かつ円滑に実施されるよう、引き続き支援してまいります。

21 水と緑の森づくり税事業について

秋田県の「水と緑の森づくり税」を財源とする安全・安心な森整備事業では、ツキノワグマなどの有害鳥獣が潜む可能性のある場所を排除し、人的被害の未然防止と景観の向上を目的に、平成30年度から緩衝帯の整備を行っております。

本年度は、田子内字巻ノ上及び桶清水地内の約11.10ヘクタールにわたり、道路沿いや民家の近くにある藪化した森林の除伐を実施する予定としております。

また、同じ財源を活用したマツ林やナラ林などの景観向上事業として、椿川字柳沢地内で枯死したナラ林の伐倒処理も行う予定としております。

今後もこれらの有利な財源を活用し、効率的かつ効果的な森林整備に努めてまいります。

22 新規高校卒業者の県内就職及び職場定着の促進に関する要請について

5月9日、東成瀬村商工会において、雄勝地域振興局 小原局長、湯沢公共職業安定所 信太所長と新規高校卒業者の県内就職及び職場定着に関する要請書を商工会古谷会長に対し手交いたしました。

将来の地域を担う若者が一人でも多く地元就職するとともに、職場定着が促進されるよう求人票の早期提出、労働条件の向上、積極的・効果的な企業情報の発信をお願いしたところです。

23 クラシックカーイベントについて

5月10日、ジュネス栗駒スキー場ジュネス2を主会場にNPO法人メビウ

スが主催するクラシックカーイベント「Giro de UGO（ジロデウゴ）2025」が開催されました。

本イベントには県内外からクラシックカー愛好者が集まり、フェラーリやポルシェ、ランボルギーニなど美しく整備された車両8台が参加し、成瀬ダム建設現場やまるごと自然館など村内各地を走行しました。

今後は、成瀬ダムの完成後を見据え、参加者を徐々に増やしながら、定期開催を目指しており、村のイベントとして定着することを期待しております。

また、ポルシェ愛好者の団体より、本村でのイベント開催と会場提供の申し出をいただいたところでもあります。

(建設課所管)

2.4 建設関連事業について

本年度の社会資本整備総合交付金事業については、平良地区では、村道滝ノ沢平良線の舗装補修工事を継続して実施する予定であり、現在発注の準備を進めております。

また、村道田子内旧国道線の排水路改修工事も発注済みであり、工事期間中は、排水路の改修に伴い通行規制が行われますので、地域の皆様には御協力をお願いいたします。

さらに、国庫補助事業を活用した橋りょう長寿命化修繕計画事業として、田子内地区の十二橋橋りょう補修工事を実施しております。工事期間中は全面通行止めとなり、地域の皆様には大変御不便をおかけしますが、御理解と御協力をお願いいたします。

加えて、部落からの要望に基づき、平良地区の村道滝ノ沢平良線側溝整備工事及び同線の流雪溝流末処理工事、岩井川地区の村道八寺線取水施設改修工事を順次進めてまいります。

2.5 国道342号開通式について

4月25日、県議会議員や雄勝地域振興局長の御臨席のもと、狐狼化山トンネル入口付近において国道342号の開通式を執り行いました。

昨年より、おおよそ一週間遅い開通となりましたが、関係機関の皆様のご尽力により、大型連休前の開通が恒例化されつつあることに対し、深く感謝申し上げますとともに、今後さらに交流人口の拡大が図られることを期待しております。

2.6 ジュネス栗駒カントリーパークについて

パークゴルフ場については、5月23日の国道397号の開通に合わせて、5月24日オープンしております。多くの愛好者の皆様に御利用いただけるよう、今後も芝の張り替えなどの整備を継続して進めてまいります。

27 成瀬ダム事業関連について

令和7年度の成瀬ダム建設事業の予算は約207億円で、堤体工事のほか、取水設備工事、管理庁舎建築工事、管理設備工事などを実施する予定となっております。本体工事の堤体計画打設量は485万立方メートルで、今年度の完了を目指しております。

また、好評を博しているダム現場見学会は、6月25日のアドベンチャーバスツアーを皮切りに、成瀬ダム工事事務所と共同で毎月開催する予定となっております。

今後も成瀬ダムを核とした観光振興などに取り組んでまいります。

以上、本定例会議には、報告7件、条例案2件、予算案1件の計10件を提出いたします。

何とぞ、全議案を可決くださいますようお願い申し上げます。（了）